

## 浜加積地区の主な提言等と進捗状況

提言等の項目	H24秋に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
防災ラジオ	防災ラジオはクリスマス頃に届くと言っていたが間違いないか。また、市に届くのか我々の手元に届くのか配布方法はどうか？	遅くとも12月25日頃には届けたいと思っております。配達の方法については、総務課から別途ご連絡いたします。
浜加積保育所近くの信号機	信号機設置後すぐに事故があったとの報告だが、どのような事故だったのか？	はっきりとしたことは分かりませんが、一旦停止を見過ごした自動車同士の事故だと聞いております。優先道路が変わったことにより事故が起きたのではないかと思います。事故が起きないように警察とも十分相談いたします。
浜加積保育所近くの信号機	縦道は狭いのでスピードは出ないが、横道は道幅も広く信号機が設置されたことで優先道路になり益々スピードを出しやすい環境となった。浜加積保育所が交差点より低い位置にあるので魚津方面から来る車に気付くのが遅れる。保育所前を横断する子どもや保護者がより危険になったのでは？	交通ルールを守っていただくのが一番ですが、信号機の設置だけでは交通安全が確保されたとは言えません。しばらくは交差点に人が立つなど工夫が必要と思います。標識などでスピードが抑えられることがあるのか警察と相談したいと思います。
市道北野高塚線の交通規制	旧8号線から海側の道で雪が積もると道幅がより狭くなるので冬場は一方通行にならないか？	一方通行の要望については、都合が悪くなる方もいますので町内の総意で要望していただくようお願いしており、町内の要望があった場合は市を經由して警察にお願いすることになります。最終的には公安委員会の判断になりますので、必ずしも要望どおりになると限りません。
市道北野高塚線の拡幅工事	以前から土地改良区に市道北野高塚線の旧8号線より海側は道幅が狭く、大型ダンプも通行するのですれ違いが出来ない箇所があるので拡幅して欲しいと要望している。国土調査の頃に杭を打っていったがそのまま何もしていない。土地改良区に確認してほしい。	経緯等も踏まえ土地改良区に確認し、現地を調査いたします。
小児科の医師	小児科医師の要望で大学などにアプローチしているようだが、なぜ来ていただけないのか？	産科や小児科は医療事故で裁判になるケースも多く専攻する医師も少ないため全国的に医師不足となっています。また、女性医師が子供を預ける施設など住みやすい環境が整っていないと来てくれない場合もあります。金沢大学や富山大学などに何度も要望してはおりますが、良い返事はなかなかもらえない状況です。
小児科の医師	人口増加対策を考えるなら、医師が来てくれるよう十分な報酬と環境を整え、全国に発信してはどうか？	ご提言ありがとうございます。今後の参考にします。
はしご車	以前は公民館まつりで消防署からはしご車を借り、子供たちをはしご車に乗せていたが、最近では消防署にお願いすると「老朽化しているので危ないから貸せない」と断られた。有事の際に出動できるのか？	消防署に確認いたします。なお、広域消防で現在より長いはしご車を配備する予定です。
人口増加対策	全国的に少子化で人口が減っている。長期的なビジョンを策定し人口増加対策に取り組まないと滑川市が衰退していくのではないか。小手先ではなく抜本的な改革に取り組んでいただきたい。	ご提言ありがとうございます。当市では中学校3年までの医療費助成や保育料の軽減などに取り組んでいます。今後も先進的な取り組みを参考に住み良い環境づくりを行っていただければと考えております。
生活保護	生活保護世帯数は？	H24年10月末で69世帯、84名が生活保護費を受給しています。受給者の大部分は、病気や怪我などが原因で働けなくなり、医療費や生活費が払えないなどの理由により受給しています。
レストラン光彩	以前にレストラン光彩を利用した時、コップの水は深層水か確認したところ、「普通の水です」と言われ、がっかりした。近くにアクアポケットがあるのだから、レストラン光彩は深層水を利用してはどうか？	貴重なご意見ありがとうございます。早急に検討いたします。
レストラン光彩	平日夕方の利用客数はどれくらい？	夕方以降の利用客数が少ないこともあり、9月からは午前11時から午後5時までの営業時間としています。費用対効果を考慮し、現在のところ営業時間の延長は考えていませんが、宴会などの予約には応じていますので是非ご利用ください。

## 浜加積地区の主な提言等と進捗状況

提言等の項目	H24秋に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
観光船の試験運行	氷見と滑川を観光船で結ぶ試験運行は何回したのか？	氷見と滑川を観光船で結ぶ「富山湾海上観光」の社会実験を9月に1回運行しています。県が氷見と黒部でも観光船の試験運航を行いました。1～2割の乗船率しかない状況でした。乗船率を向上させるため新湊大橋付近やもっと沿岸を運行するなど観光を盛り込むような意見があったと聞いています。富山湾海上観光については、氷見からの観光客を呼び込むことや、氷見や能登への観光の拠点となり得るのではと考えており、県外の観光客に立山黒部アルペンルートだけでなく新たな観光の提案ができるのではないかと考えています。また、宿泊施設が足りないことや観光船の所有や維持管理についても検討していかなければならない課題であると考えております。来年度は試験運行を2～3回実施する予定です。